

みいつけた!



六ヶ所村の魅力を発掘・発見・発信!

えぞたて 蝦夷館巡いツアーを開催しました!

4月23日(土)午前、倉内地区にある11世紀頃の防御性集落である安倍館・中志蝦夷館・内沼蝦夷館を見学するツアーを開催しました。参加者たちは、郷土館長の解説を聞きながら、蝦夷館の空堀を歩いたり40mの崖を登ったりして、中世の歴史を体感していました。



六ヶ所村には古城が7か城あります。これらは、古くは奈良時代・平安時代以前から生活拠点として、中世から近世にかけては、南部氏の支配の戦略上の極めて重要な地域でした。

東側と南側が崖になっている安倍館。前九年の役の時、この館には安倍貞任あへきさだとうがおり、南方の八幡館にいた八幡太郎義家はちまんたろうよしえと戦をしたという伝説が残されています。

安倍館があった土地の所有者の方から、倉内・平沼地区で採取された石斧や石匙などを見せていただきました。参加者たちは本物を見て、触って、大興奮していました。



中志蝦夷館では、住居跡である窪地を見学したり空堀を歩いたりしました。



内沼蝦夷館の40mの崖を登る参加者たち。まさに自然の要塞です。

内沼蝦夷館で記念撮影



参加者の感想：六ヶ所村出身ですが、蝦夷館について初めて知り、勉強になりました。(Y.Sさん)